

第198回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成26年5月8日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
古磯 勝子 (副委員長)
青木 敬信
早川 富美子
畠山 大

(2) 欠席委員の氏名 長 茂男
君島 理恵

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

4月24日、5月1日に放送した生ワイド番組「RBZ」について、
試聴と意見交換を行った。

事業者

開局20周年を迎えた今年度。ラジオの原点であるDJトークにこだわり、改めてラジオの持つ面白さを追求しようと、午後の時間帯に、日替わりのツインパーソナリティによる、新しいワイド番組を編成しました。毎週木曜日には、ラジオ界で人気のパーソナリティバカボン鬼塚を起用。以前、長時間ワイド番組、B-BOX Friday HYPER に出演していた岡田亜紀とコンビを組んで、4月から放送しています。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

バカボンさんは、これまでの御社にはあまりいなかったタイプのDJであり、とても新鮮だ。そのトークにはチカラがあり、ラジオの楽しさを伝えられる独特の個性を持つDJだと感じた。

委員：

バカボンさんはノリが良くて、また、その喋りに勢いを感じた。人気が高いのも納得できた。放送は、特に若い世代にとっては、2時間では足りない位、心地のよい時間と感じる人も多だろうが、少し落ち着ける時間がほしいと思うリスナーには、少々乱暴に聞こえる表現もあってか、この喋りを下品に感じる人もいるかもしれない。ただ、そのキャラクターがしっかりと確立しているとても魅力あるラジオパーソナリティである。

委員：

アトムさんのレポートはベテランらしく上手で安定していたが、終始、マイペースで、番組全体のテンションから見ると、どこか冷めている感じにも聞こえた。現地のアトムさんにスタジオからバカボンさんが絡んだ場面では、別の展開が見られたので、今後もそうした形でアレンジしてほしい。

委員：

バカボンさんと比べると、岡田さんはどうしてもトークが押され気味だ。相づちばかりでなく、もっと個性を出してみて、バカボンさんだけに頼ることなく、自らでも番組を盛り上げてほしい。

委員：

バカボンさんと岡田さんは、息も合っていて、とてもいいコンビになる可能性を秘めている。今後の2人のコンビネーションに期待したい。

委員：

「ゆる音」のコーナーでは、今まであまり知らなかった楽曲の情報を改めて知ることが出来た。また、バカボンさんが、音楽にもかなり通じていることがわかった。

委員：

「ゆる音」のコーナーでも、バカボンさんがコーナータイトルを叫んではじめていたが、ここは、他のコーナーとは変化を付けて、落ち着いたトーンで聞かせた方がよい内容であり、他のコーナーと同様にタイトルを叫ぶ演出は適さないのではないかと感じた。また、紹介曲をかけるまでのトークがうまくまとまっておらず、実際に楽曲がかかるまでが、とても長かった。前置きは手短かにして、まずは楽曲を聞かせてから、その後、楽曲への想いや情報を話してほしい。コーナーコンセプトの“ゆる”さが出せるよう、構成をより工夫してほしい。

委員：

「レディオベリーリゾート」では、岡田さんの冷静で的確な突っ込みが光っていた。聴いていて、とても面白いコーナーだった。番組の後半にこのコーナーがあることで番組全体の構成にメリハリが出ていると感じた。

委員：

今回、RBZ パーソナリティの一人に、他局のイメージが強いバカボンさんを起用した理由は？

事業者：

制作スタッフからの提案の他、バカボン鬼塚側からも番組に出演したいとの声があった。

県南地区は、他局で放送している彼の番組のファンも多く、そうしたリスナーにも弊社の放送をアピールするきっかけ作りになればという点。さらに、人気者で実力のあるDJをラインナップに加えることで、他のパーソナリティや制作陣に良い意味での刺激になればという狙いから、彼の起用を決めた。

委員：

制作する中でこうした刺激は必要だと思う。相当大きな刺激になっているのではないか。

対外的にも、バカボンさんの起用をきっかけに、注目度はアップしており、番組の今後にとっても期待が持てる。

委員：

バカボンさんは、さすが人気のDJだけあって、その実力を再確認した。聴いていてそのトークのパワーに引き込まれた。RBZ と銘打ったラジオの究極形の姿を一部だが垣間見ることが出来た。

委員：

番組の内容は、とても面白かったが、全国ネットの番組っぽく感じてしまった。

欲を言うなら、栃木から放送を届けている感じがもう少しあるといいと思った。

事業者：

垢抜けた感じに作ると、どうしてもローカル色が薄まってしまう。今後、そのバランスを、どううまく、とっていかかが課題だ。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を6月5日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 5月25日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし